



会報



魅力あるロータリーに！

2017. 02. 15 第1222回例会 No. 27-25 2017. 02. 22発行

◎司会 SAA・親睦委員会 林田 敏誠

◎点鐘 会長 小泉 博

◎ロータリーソング「それでこそロータリー」
ソングリーダー 菊池 敏

◎お客様紹介 会長 小泉 博

卓話講師 多摩ニュータウン環境組合
リサイクルセンター長 江尻 京子様
多摩市廃棄物減量等推進審議会 副会長 江川美穂子様

◎会務報告 会長 小泉 博

第11回定例理事会 (2/1) 報告

- ① 多摩市社会福祉協議会より評議員の推薦依頼があり、
峯岸忠会員を推薦 (内定)
- ② SAA 親睦委員会 三田委員長からクリスマス例会収支
報告書の説明があり、これを承認

その他：

- i 地区より地区大会各種委員会委嘱依頼があり
登録委員会 委員 宮本 誠会員 承認
選挙委員会 委員 入沢修自会員 承認
- ii 地区大会選挙委員会より選挙人登録依頼
小泉会長を多摩グリーンRCの選挙人で承認
- iii 姉妹地区 3650 地区で地区大会 (ソウル) の開催通知
が来ています、次回回覧いたします。
- iv 来週は地区大会ですが、本番22日でいつもと違うのは
開会後の各クラブ紹介を昼食後 (12:50) にする
こととなっております。その後の松尾豊氏の記念講演
も是非お聴き下さい。

◎幹事報告 幹事 杉山 真一

配布：卓話資料、クリスマス例会収支報告、地区大会
案内

回覧：手続要覧申込書、ハイライトよねやま203
当クラブ スクラッチ会の案内

他クラブ例会変更：事務局へ問合せのこと

※ R財団、米山記念奨学会に寄付をされた方に確定
申告用寄付領収証を配布しました。

◎次年度会務報告 会長エレクト 田崎 博実
補助金セミナーに出て参りました。
補助金というのは奉仕プロジェクトをする時、地区から
申請内容により補助金が出るそうですが、補助金の
申請資格を得て参りました。

◎会員表彰

【入沢 修自会員 ポールハリスフェロー】

会長 小泉 博



入沢修自会員に
ポールハリスフェロ
ーの認証状が届いて
おります。

【 諸事報告 】

◎各委員会・他

◎出席報告 出席奨励委員会 入沢 修自

会員総数	30名
出席義務免除者	8名
出席者数	19名
出席義務者	19名
出席免除者	7名
計	22名

出席率 24/29 = 82.75%

第1221回例会 (2/1) 訂正出席率 90.00%

◎ニコニコBOX SAA・親睦委員会 瀬戸 武

小泉 博 江尻センター長、江川様ようこそいらっ
しゃいました 卓話よろしくお願ひし
ます。

杉山 真一 江尻様、江川様本日の卓話宜しくお願ひ
します。

初野 有人 暖かくなりそうですね。

足立潤三郎 もうすぐ春ですね 何となく気分が
ウキウキしてきました。

徳原 透 今日はあったかいですね！

伊澤ケイ子 お客様ようこそ。

関岡 俊二 お客さまようこそ。

萩生田政由 江尻様江川様卓話楽しみにしています。
 峯岸 忠 お客様ようこそ。卓話よろしくお願ひします。いよいよ花粉が始まりましたネ！
 菊池 敏 お客様ようこそ。
 林田 敏誠 お客様ようこそです。卓話楽しみにしております。
 森本 由美 江尻さま 江川さま 本日はお忙しい中、よろしくお願ひします。大切なお話と考へています。
 大松 誠二 お客様ようこそ ようやく暖かくなりました。
 齋藤 誠壽 江尻様 江川さんお話を楽しみにしております。
 瀬戸 武 ようやく春の兆しです。

本日の合計¥15,000 (累計¥651,403)

◎卓話者紹介 プログラム委員長 森本 由美

◎卓話

1 「ごみの減量の工夫、その一例として」



江尻 京子様

「多摩ニュータウン環境組合」とは八王子市、町田市、多摩市で構成する事務組合です。多摩清掃工場と焼却炉があり、そこに併設されている市民むけの啓発施設です。愛称がエコにこセンター、正式名称:多摩ニュータウン環境組合

リサイクルセンターです。

エコにこセンターは尾根幹線の多摩市総合福祉センターの隣にあります。月曜がお休みで土日は開館しております。運営するにあたり地域、わざ、次世代をコンセプトとして活動しております。

2階の展示場には再生家具の展示販売、人気なのが本の貸出で自由に利用されています。

皆様も不要になった本がありましたらセンターへお持ち下さい。古紙回収になる前にもう一度本として利用されるので是非お願ひします。

八王子市、町田市、多摩市の広報も取り揃えてありますので比較すると面白いです。

粗大ゴミの活用として、主に多摩市の粗大ゴミで綺麗にしてすぐに使えるようにしてあります。製品として使えないものは部品、木材として利用します。

主な講座としてお花の教室、エコにこ写真館、布を使った草履作り、織物、食器の回収から粘土を作り陶芸教室、欠けた食器の繕い教室、キッズクラブではリースや看板を作ったりします。不用になった陶磁器製食器を回収し粉末状にし20%、50%配合の陶土にして食器を作り販売します。



事業系廃棄物で家庭系より可燃ゴミが増えてあります。事業系の中で資源となる紙類に関してもう少し減らすこともできると考へます。多摩市では、1日10kg未満であれば事業系の有料袋で回収に出せる。一月に100kg未満であれば紙類はエコプラザで受け取ってくれます。エコプラザに持ち込むことは可燃ゴミを減らせられることになるので是非利用されたい。特に機密書類は多摩清掃工場に直接持って行ってピットの中に入れてしまうと誰もピットの中に入れてないので安全です。

2 「循環の環を広げよう！生ごみリサイクルの勧め」

江川美穂子様



1990年からゴミ問題に取り組んで参りました。

当初はリサイクルをやれば良かったのですが、日の出町のゴミ最終処分場で2つ目の処分場を作る時大紛争になり、以来ゴミはリサイクルだけではどうしようもない、ゴミ自体を減らさなければならぬと気づき多摩市の

ゴミを減らすことがライフワークになりました。

今は「ダンボールコンポスト」でゴミが減らせるという普及活動を、今年が多摩市と普及のキャンペーンを行っています。

ダンボールコンポスト(愛称ダンボちゃん)を持って来ました。丈夫な段ボール箱にセットとして公共施設から出た木の枝などがエコプラザに運ばれ、発酵して土壌改善剤になる、町田市からは蔓延って困る竹のチップ、長野から蕎麦殻の燻炭、八王子の牧場から牛糞堆肥などが入っています。

毎日の生ゴミを中にいれてゆく、すると微生物により発酵して生ゴミも消えてゆき基材の中で良い土壌改善材になる。これを家庭菜園などで利用して頂く。

多摩地域ゴミ実態調査というのがあり毎年出されます。多摩市は家庭系のゴミは順調に減って来ました。26市で比較すると少ない方から7番目です。ですが事業系のゴミが増えてきて人口あたりではワースト1なのです。頭に入れて置いて下さい。特に機密文書ですが、清掃工場でポンと燃やしてしまうのも良いのですが、完全リサイクル出来る所川崎にコアレックスという所があります。宅急便で送るときちゃんとリサイクルしてくれますのでご利用下さい。

◎お礼と閉会点鐘

会長 小泉 博

(今週の担当 吉沢 洋景)